



2015年度 第22号

年報

研究機構

オープンイノベーションセンター

年間活動実績	
年間活動実績	4
連携推進・知的財産部門の活動報告	
技術相談・外部資金受入	13
発明・特許件数	15
企業・経済団体・官公庁・公的機関訪問件数	16
初心者のための3DCAD～3Dプリンター基礎研修報告	17
プロジェクト推進部門の活動報告	
埼玉県先端産業創造プロジェクト報告	20
埼玉大学産学官連携協議会の各研究会の活動報告	
研究会活動報告	24
COICの運営と組織	
運営と組織	28
体制図	31
歴代センター長一覧	32
ご案内	
技術相談について	34
共同研究について	35
各種イベントでの当センターPRポスター	37
埼玉大学産学官連携協議会 紹介パンフレット	38

年間活動実績

月	日	曜	時間	場所	項目	主催 /共催 /参加	担当	実績等	
4	6	月	10:00～ 12:00	大宮ソニックシ ティカレッジ	埼玉大学産学官連携協議会 運営委員会 あり 方検討会	協主	橋本	荒井、 山田	
	6	月	13:00～ 15:00	大宮ソニックシ ティカレッジ	第1回埼玉大学産学官連携協議会 運営委員会	協主	橋本	荒井、 山田	
	16	木	15:00～ 17:00	東京電機大学/ 北千住	PUiP (新年度)CE-WG ミーティング+運営打合 せ	参	橋本		
	17	金	13:30～ 14:30	センター長室	Jpnet説明会	参	松岡	北島、 横田、 日下、 平本	
	20	月	15:00～ 16:00	108研修室	第1回オープンイノベーションセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 松岡、 今	
	22	水	15:00～ 17:00	ラフレさいたま	さいたま市パーソナルモビリティ普及研究会平 成26年度総会	参	笠谷	橋本	
	23	木	14:00～ 17:30	新都心ビジネス 交流プラザ	第一回 医療機器グローバル参入研究会	参	橋本		
	27	月	9:30～ 14:00	108研修室	埼玉県担当者向け事業計画ヒアリング	プ主	橋本	県プロ 担当	
28	火	13:00～ 14:00	209技術相談室	第1回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本		
5	11	月	15:00～ 16:00	新都心ビジネス 交流プラザ	先端産業支援センター埼玉開所式	プ参	橋本	綿貫、 牟田口	
	11	月	15:00～ 16:30	研究交流サロン	第28回NeCSTセンター会議	主	笠谷	山田	
	13	水	10:00～ 18:00	国際展示場	国際バイオテクノロジー展(～15日)	プ参	松岡	横田	40社訪問、 技術相談5件、 共同研究1件
	13	水	15:00～ 16:00	さいたま市産業 展開推進課	ものづくり支援事業連絡会議	参	丹保	橋本	
	13	水	14:00～ 17:00	パレスホテル大 宮	埼玉県経営者協会総会	参	綿貫	小林、 荒井、 山田	
	14	木		埼玉県県民健康 センター	医工連携セミナー	参	橋本	牟田口	
	15	金		東京電機大学	PUiP	参	橋本		
	19	火		NEDO	橋渡し研究機関申請説明会	参	牟田口		
19	火	15:00～ 16:00	108研修室	第2回オープンイノベーションセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 松岡、 今		
26	火	13:00～ 14:00	209技術相談室	第2回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本		

月	日	曜	時間	場所	項目	主催 /共催 /参加	担当	実績等	
5	26	火	15:00～ 17:00	新都心ビジネス 交流プラザ	第1回埼玉産学官連携推進のための大学間連 絡会	主	松岡	橋本、 岩佐ほ か	
	27	水	14:00～ 17:30	大学会館 3階 大 集会室	埼玉次世代自動車環境関連技術イノベーション 創出センター第5回シンポジウム	主	笠谷		本会179名参 加、交流会38 名参加
	29	金	14:00～ 17:30	新都心ビジネス 交流プラザ	産学連携支援ネットワーク会議幹事会	参	橋本		
	29	金	15:00～ 16:00	工学部55番教室	A-Step説明会 (JSTによる学内教職員向け)	共	笠谷	日下、 平本	約25名参加
6	1	月	11:30～ 12:30	大宮ソニックシ ティカレッジ	第2回埼玉大学産学官連携協議会 運営委員会	協主	橋本	荒井、 山田	
	1	月	13:30～ 18:00	大宮ソニックシ ティ市民ホール	埼玉大学産学官連携協議会 第16回定期総会、産学連携事例発表会	協主	橋本	セン ター全 員	
	10	水	10:00～ 18:00	さいたまスー パーアリーナ	さいしんビジネスフェア	プ共	大久保	岩佐、 横田、 牟田口	名刺交換17社、 技術相談3件 (来場者15,000 名)
	11	木	15:00～ 17:00	東京電機大学	PUiPワーキング	参	橋本		
	16	火	13:30～ 15:00	新都心ビジネス 交流プラザ	知的財産インターンシップ連絡会議	共	橋本	小林	
	18	木	9:30～ 16:00	JST東京本部別館 1Fホール	首都圏北部4大学連合(4u)発 JST新技術説明会(～19日)	共	小林	大久保、 横田、 牟田口、 笠谷、 平本	講演教員5名、 聴講計276名 名刺交換38名、 個別相談4社
7	11	土	10:30～ 16:00	経済学部B棟303 室	知的財産インターンシップワークショップ	主	橋本		
	13	月	14:00～ 16:00	ときわ会館5階 大ホール	BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展 説明会	参	笠谷	牟田口	
	17	金	15:00～ 17:00	東京電機大学/ 北千住	PUiP 大学発WG + 幹事会	参	橋本		
	18	土	10:30～ 16:00	経済学部B棟303 室	知的財産インターンシップワークショップ	主	橋本		
	23	火	11:00～ 12:00	108研修室	第3回オープンイノベーションセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 松岡、 藏田	
23	火	13:00～ 14:00	209技術相談室	第3回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本		
25	木	14:00～ 15:30	新都心ビジネス 交流プラザ	産学連携支援ネットワーク会議総会	参	小林	橋本		

月	日	曜	時間	場所	項目	主催 /共催 /参加	担当	実績等	
7	21	火	14:00～ 15:00	209技術相談室	第4回 知的財産評価委員会	主	松岡 綿貫、 小林、 橋本		
	22	水	9:40～ 16:30	JST東京本部別館	コーディネーター研修基礎コース	参	横田		
	23	水	13:00～ 16:00	新都心ビジネス 交流プラザ	スマイルウーマンフェスタ出展者説明会	協 賛	大久保		
	24	金	10:30～ 12:30	総合研究棟シア ター教室	URA主催 科研費説明会	参	小林	岩佐、 横田	
	24	金	14:00～ 18:00	新都心ビジネス 交流プラザ	埼玉県ビジネス交流会	参	橋本		
	27	月	15:00～ 16:00	108研修室	アグリビジネス研究会 キックオフ会	研 主	大久保	小林、 岩佐	13名参加
	29	水	14:00～ 17:00	TKP東京	知的財産インターンシップ継続取り組み意見交 換会	参	橋本		
8	5	水	15:00～ 16:30	大宮ソニックカ レッジ	第2回 埼玉産学官連携推進のための大学間連 絡会	主	小林	松岡、 橋本、 岩佐	
	5	水	10:00～ 12:00	新都心ビジネス 交流プラザ	さいたま医療ものづくりコーディネーター情報交 換会	参	牟田口		
	6	木	14:00～ 16:00	新都心ビジネス 交流プラザ	BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展 説明会	参	笠谷	横田	
	19	水	15:30～ 17:30	新都心ビジネス 交流プラザ	第13回さいたま市パーソナルモビリティ普及研 究会	参	笠谷		25名参加
	20	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習第1回コース1)(～21日)	主	丹保		8名参加
	24	月	13:00～ 14:00	209技術相談室	第5回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本	
	24	月	15:00～ 17:00	株式会社埼玉新 聞社	学生による企業訪問	主	小林	荒井、 山田	学生2名参加
26	水	15:00～ 17:00	富士電機器制御 株式会社	学生による企業訪問	主	笠谷	牟田口	学生3名参加	
27	木	9:30～ 17:30	東京ビックサイト 西1ホール	イノベーション・ジャパン2015-大学見本市 & ビジ ネスマッチング(～28日)	参	横田	CD全員、 平本	出展教員6名、 名刺交換計 326名、面談16 件	
9	3	木		香川大学	国立大学法人共同研究センター等教員会議(～ 4日)	参	小林	橋本	
	7	月	16:00～ 17:00	108研修室/ 総合研究棟2階 セミナー室5・6	平成27年度研究開発プロジェクト中間学内打合 せ(～10日)	プ 主	綿貫	県プロ 担当	
	10	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習第1回コース2)(～11日)	主	丹保		5名参加

月	日	曜	時間	場所	項目	主催/ 共催/ 参加	担当	実績等	
9	12	土	10:00～ 17:00	さいたまスー パーアリーナ	SAITAMA smile Womenフェスタ2015(～13日)	協 賛	大久保	(来場者23,259 名)埼玉大学生 協、(社福)一粒 NPO秩父百年 の森が協力出 展	
	17	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習第1回コース3)(～18日)	主	丹保	2名参加	
	17	木	13:30～	電気通信大学	国立大学法人共同研究センター長等会議(～18 日)	参	綿貫	小林、 菅間	
	17	木		新潟大学	UCIP 研究・知的財産管理委員会	参	松岡		
	25	金	15:00～ 18:00	東京電機大学	PUiP 大学発WG	参	橋本		
	28	月	13:00～ 14:00	209技術相談室	第6回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本	
	28	月	15:00～ 16:00	108研修室	第5回オープンイノベーションセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 松岡、 荒井	
	28	月	16:30～ 18:00	108研修室	第29回NeCSTセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 笠谷、 山田	
10	7	水		株式会社マス ダック	企業訪問(経済・金子秀ゼミ)	参	大久保	学生20名参加	
	8	木	10:00～ 17:00	大田区産業プラ ザ	おおた研究・開発フェア(～9日)	参	牟田口 今	名刺交換47名 (来場者1865名)	
	8	木	13:30～ 15:00	新都心ビジネス 交流プラザ	BIZ SAITAMA出展者説明会	参	笠谷		
	15	木	16:20～ 17:50	総合研究棟3階 セミナー室8	特別セミナー「世界へ向けたマーケティングとビ ジネス」	主	綿貫	小林	45名参加
	20	火	10:00～ 12:00	埼玉県庁	コーディネーター会議	参	笠谷		
	20	火	13:00～ 14:00	108研修室	第6回オープンイノベーションセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 松岡、 山田	
	23	金	14:00～ 18:00	東京電機大学	PUiP 大学発WG	参	橋本		
	23	金	15:00～ 17:00	仲町川鍋ビル8 階	第14回さいたま市パーソナルモビリティ普及研 究会	参	笠谷	27名参加	
26	月	13:00～ 14:00	209技術相談室	第7回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本		
29	金	13:30～ 18:00	発明会館	広域大学ネットワーク 公開成果発表会(UCIP)	参	松岡			

月	日	曜	時間	場所	項目	主催 /共催 /参加	担当	実績等	
11	5	木	10:00～ 16:30	ものづくり大学	第12回埼玉北部地域技術交流会		参 大久保	荒井、 山田	(来場者362名)
	5	木	10:00～ 16:00	大宮ソニックシ ティ地下1階	BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展(～6日)		参 笠谷	横田、 牟田口、 平本	出展教員3名、 名刺交換計60 名、 技術相談4件、 共同研究1件
	11	木	13:00～ 18:30	総合研究棟シア ター教室	飯能信用金庫・埼玉大学合同セミナー in 埼玉 大学		主 大久保		73名参加
	12	金	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習第2回コース2)(～13日)		主 丹保		3名参加
	16	月	13:00～ 17:00	自治医科大学 (栃木)	首都圏北部4大学連合(4u)新技術説明会 キャラバン隊		参 大久保	松岡、 横田	
	18	水	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 ※延期分 (3Dプリンター講習第2回コース1)(～19日)		主 丹保		6名参加
	18	水	10:00～ 17:00	東京ビックサイト	アグリビジネス創出フェア2015 PUIP(～20日)		参 松岡	橋本	
	18	水	13:30～ 17:00	産総研(つくば)	産学連携支援ネットワーク会議 産学官金セ ミナー		参 橋本		
	19	木	15:00～ 18:00	武蔵野銀行本店	販路拡大のための標準化制度活用セミナー		参 橋本		
	21	土	12:00～ 20:00	埼玉大学構内	第66回埼玉大学むつめ祭(～22日)		参 大久保		理学部分子生 物学科と教育 学部家政学専 修の学生16名 協力
	24	火	13:00～ 14:00	108研修室	第7回オープンイノベーションセンター会議		主 綿貫	小林、 橋本、 松岡、 山田	
25	水	15:00～ 16:40	SAITEC	第3回 埼玉産学官連携推進のための大学間連 絡会		主 小林	松岡、 橋本、 岩佐		
26	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習第2回コース3)(～27日)		主 丹保		参加者なし	
26	木	14:00～ 18:00	東京電機大学	PUIP 大学発WG		参 橋本			
30	月	13:00～ 14:00	209技術相談室	第8回 知的財産評価委員会		主 松岡	綿貫、 小林、 橋本		
12	2	水	10:00～ 17:00	東京ビッグサイト 東ホール	国際ロボット展(～5日)	プ	参 牟田口		名刺交換27名
	3	木	13:30～ 18:00	総研棟シアター 教室	第16回埼玉大学産学交流会(テクノカフェ)	協	主 小林	荒井、 山田	本会125名参加 交流会99名参 加
	3	木	14:00～ 18:00	新化学技術推進 協会会議室(千 代田区)	JACI第2回学産交流ポスターセッション		参 松岡		面談4社

月	日	曜	時間	場所	項目	主催 /共催 /参加	担当	実績等	
12	8	火	10:00～ 12:00	キャノン	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習機器見学会)	主	丹保		
	10	木	13:00～ 16:00	JST東京本部別館 1Fホール	千葉大学・芝浦工業大学・埼玉大学・山梨大学 新技術説明会	参	橋本 松岡	技術相談2件、 聴講者延べ67 名	
	14	月	14:00～ 16:00	キーエンス	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習機器見学会)	主	丹保		
	14	月	16:30～ 17:30	研究交流サロン	第30回NeCSTセンター会議	主	綿貫 笠谷、 山田		
	17	木	15:00～ 18:00	108研修室	アグリビジネス研究会 第2回研究会	研主	大久保	15名参加	
	21	月	13:00～ 14:00	209技術相談室	第9回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本	
	22	火	13:00～ 14:00	108研修室	第8回オープンイノベーションセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 松岡、 平本	
	22	火	14:00～ 16:00	新都心ビジネス 交流プラザ	さいたま医療ものづくり懇話会	参	橋本	綿貫	
22	火	18:00～ 20:10	新都心ビジネス 交流プラザ	さいたま医療ものづくり人材開発プログラム	参	橋本	綿貫		
1	7	木	13:30～ 17:00	パレスホテル大 宮	埼玉県経営者協会平成28年新年懇談会	参	綿貫	小林、 橋本	
	8	金	9:00～ 10:00	平沢ビル4階(神 田)	サポイン中間評価ヒアリング	主	菅間	笠谷	
	14	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習第3回コース1)(～15日)	主	丹保		13名参加
	15	金	14:25～ 14:55	新都心ビジネス 交流プラザ	新エネルギー部会	プ参	岩佐		
	18	月	14:00～ 18:00	大宮ソニックシ ティ	市民大試食会(埼玉大麦食品普及・食のモデル 地域実行協議会研修会)	研共	大久保		一般参加40名
	19	火	13:00～ 14:00	108研修室	第9回オープンイノベーションセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 松岡、 平本	
	20	水	10:00～ 12:00	ラーニングコモン ズ C	防災ビジネス研究会キックオフミーティング	研主	笠谷	小林、 山田	24名参加
	20	水	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習新型プリンタ紹介講座)	主	丹保		
	22	金	14:00～ 18:00	総研棟シアター 教室	産学官連携セミナーin埼玉大学 (埼玉りそな産業経済振興財団共催)	共	小林	荒井、 山田	一般企業100 名以上参加
22	金	10:30～ 16:00	JST東京本部別館 1Fホール	PUiP新技術説明会 (山梨、東京電機、東京理科、埼玉、信州 大)	共	橋本	松岡	190名参加、 技術相談1件	
25	月	13:00～ 14:00	209技術相談室	第10回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本		

月	日	曜	時間	場所	項目	主催 /共催 /参加	担当		実績等
1	25	月	18:00～ 20:00	ブリランテ武蔵野	第15回さいたま市パーソナルモビリティ普及研究会		主	笠谷 橋本	25名参加
	26	火	11:00～ 12:00	108研修室	オープンイノベーションセンター 運営委員会		主	佐藤 綿貫、 小林	
	27	水	10:00～ 18:00	さいたまスー パーアリーナ	彩の国ビジネスアリーナ(産学連携フェア)(～ 28日)		参	岩佐 大久保、 笠谷、 横田、 牟田口	名刺交換約 136名、 技術相談3件 (来場者数 17,233名)
	27	水	13:00～ 15:30	ラーニングコモン ズ A	NeCSTパワーエレクトロニクス研究会第6回講演 会		主	笠谷 山田	24名参加
	28	木	13:00～ 15:00	信越ポリマー株 式会社	学生による企業訪問		主	橋本 荒井	学生5名参加
	28	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習第3回コース2)(～29日)		主	丹保	9名参加
2	2	火	10:00～ 12:00	株式会社高脇基 礎工事	学生による企業訪問		主	小林 大久保、 荒井	学生4名参加
	3	水	10:00～ 12:00	大宮ソニックシ ティカレッジ	4u拡大会議		主	小林 大久保	
	4	木	10:55～ 12:10	新都心ビジネス 交流プラザ	ロボット部会		プ 参	牟田口	
	4	木	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習第3回コース3)(～5日)		主	丹保	4名参加
	5	金	14:00～ 18:00	東京理科大学	PUIP WG		参	橋本	
	8	月	16:30～ 17:30	理工研棟交流サ ロン	第31回NeCSTセンター会議		主	笠谷 山田、 平本	
	9	火	13:00～ 17:00	大手町サンケイ プラザ302室	平成27年度大学-JST意見交換会		参	小林	
	10	水	12:00～ 17:00	中野サンプラザ 13Fスカイルーム	JST発ものづくりシーズ発表会		参	笠谷 平本	技術相談2件
	15	月		アスティ45ビル ACU1206室	「IPNWforUCIP」合同会議(～16日)		参	橋本	
	16	火	13:00～ 17:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習個別研修)		主	丹保	
	22	月	13:00～ 14:00	209技術相談室	第11回 知的財産評価委員会		主	松岡 綿貫、 小林、 橋本	
23	火	13:00～ 14:00	108研修室	第10回オープンイノベーションセンター会議		主	綿貫 小林、 橋本、 松岡、 日下		
24	水	15:00～ 17:00	東京電機大学	PUIP運営委員会		参	松岡 橋本		
25	木	9:30～ 12:00	仙台合同庁舎	サポイン中間評価ヒアリング		主	笠谷		

月	日	曜	時間	場所	項目	主催 /共催 /参加	担当	実績等	
2	29	月	9:30～ 12:00	108研修室	ものづくり支援事業 (3Dプリンター講習成果発表会)	主	丹保		
3	1	火	13:30～ 15:25	新都心ビジネス 交流プラザ	平成27年度 アドバイザリーボード (年度末報告会)	プ主	綿貫	県プロ 担当	
	1	火	15:40～ 16:40	新都心ビジネス 交流プラザ	平成27年度 アドバイザリーボード (技術評価会)	プ主	綿貫	県プロ 担当	
	1	火	13:00～ 16:30	ブリランテ武蔵野	さいたま市パーソナルモビリティ普及シンポジウ ム(NeCST共同開催)	主	笠谷	山田、 平本	100名参加
	3	木	14:00～ 17:00	CIC東京	UCIP広域大学知的財産ADネットワーク活動推 進会議	参	橋本		
	3	木	14:00～ 17:00	大学会館 2階 ラーニングコモン ズ	NeCST次世代自動車環境・エネルギー循環研究 会 第3回特別講演会	主	笠谷	山田	24名参加
	4	金	14:00～ 18:00	東京理科大学	PUiP WG	参	橋本		
	10	木	15:00～ 17:30	学生会館	合同企業説明会	協主	橋本	荒井、 山田	
	16	水	13:30～ 18:00	大宮ソニックシ ティ	埼玉大学産学連携セミナー	共	松岡	綿貫、 小林	講演教員4名、 30名参加
	18	金	18:00～ 20:00	ソニックシティ会 議室602	第16回さいたま市パーソナルモビリティ普及研 究会	参	橋本	笠谷	27名参加
	24	木	14:00～ 18:00	東京理科大学	PUiP WG	参	橋本		
	24	木	13:30～ 17:00	新都心ビジネス 交流プラザ	ロボットニーズ研究会	プ参	牟田口		
	28	月	10:00～ 10:30	大宮ソニックシ ティ701会議室	医療イノベーション部会	プ参	松岡	小林、 横田	
	28	月	13:00～ 14:00	209技術相談室	第12回 知的財産評価委員会	主	松岡	綿貫、 小林、 橋本	
	28	月	16:00～ 18:00	NEDO本部 21階 西会議室	NEDO橋渡し研究開発促進事業 公募説明会	参	牟田口		
	29	火	13:00～ 14:00	108研修室	第11回オープンイノベーションセンター会議	主	綿貫	小林、 橋本、 松岡、 日下	
30	水	10:00～ 12:00	108研修室	アグリビジネス研究会 第3回研究会	研主	大久保		10名参加	
31	木	10:00～ 12:00	108研修室	防災ビジネス研究会 第2回研究会	研主	笠谷	山田	21名参加	
備考					プ 協 研	プロジェクト推進部門関係 産学官連携協議会 産学官連携協議会の研究会			

連携推進・知的財産部門の活動報告

●技術相談件数(分野別)

年 度	生物	物理	化学	機能材料	数学	電気電子	情報通信	機械	環境	建設	経済	教育	その他	合計
平成27年度	11	1	12	10	0	15	6	29	3	1	2	5	19	114
平成26年度	7	2	19	6	0	19	7	16	10	1	1	3	12	103
平成25年度	2	0	8	6	0	7	8	14	5	1	1	6	9	67

●技術相談件数(月別)

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成27年度	12	14	19	6	5	13	13	12	6	6	3	5	114
平成26年度	17	5	11	10	11	16	3	5	6	8	5	6	103
平成25年度	4	4	11	6	11	6	8	7	2	2	2	4	67

●外部資金受入(大学総計)

単位:件、千円

年 度	民間等との共同研究		受託研究		奨学寄附金		合 計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成27年度	128	112,414	57	300,062	153	224,603	338	637,079
平成26年度	135	116,666	48	239,523	144	526,456	327	882,645
平成25年度	118	126,729	57	256,550	142	277,299	317	660,578

●平成27年度 JSTマッチングプランナープログラム『探索試験』

採択されたシーズ(4件／13件申請)

研究課題名	学部	研究者
高効率水素製造のための半導体原子層による新規半導体電極の開発	大学院理工学研究科	白井肇
発達障害児の保育環境の改善に資する保育士と協働できる保育ロボットの技術開発	教育学部心理・教育実践学	野村泰朗
SNSと位置情報システムの融合による「ユーザー投稿型方式バス運行情報システム」の開発	大学院理工学研究科	久保田尚
疑似光周波数コム干渉計による高速イメージング技術の開発	大学院理工学研究科	塩田達俊

採択されたシーズ(1件／5件申請)

研究課題名	学部	研究者
低コスト磁気軸受における受動安定軸の可変剛性制振制御	大学院理工学研究科	水野毅

●戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)

研究課題名	学部	研究者
大腿骨近位部骨折患者の早期離床、寝たきり予防を実現するモジュラー型骨折治療システム及びその生体力学的親和性向上(平成26年～継続)	大学院理工学研究科	森田眞史
色のバラツキが少なく、視認性に優れ疲労軽減特性のある自動車内装照明用LEDの蛍光体層開発	大学院理工学研究科	綿貫啓一

●発明件数の実績

	24年度	25年度	26年度	27年度
発明件数(件)	57	68	58	42

●特許取得及び管理状況の実績(実用新案含む)

【国内】	24年度	25年度	26年度	27年度
出願件数(件)	52	60	49	37
登録件数(件)	44	31	46	30
消滅件数(件)	3	33	3	19
保有件数(件)	141	162	202	214

※保有件数:24年度より外国保有も含む

●知的財産権ライセンス等収入実績

【実施許諾】	24年度	25年度	26年度	27年度
件数(件)	3	4	8	20
金額(千円)	1,920	1,803	1,377	1,343

【譲渡】	24年度	25年度	26年度	27年度
件数(件)	1	15	1	0
金額(千円)	560	7,687	205	0

※知的財産権とは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、その他(育成者権、回路配置利用権、ノウハウ等)とし、MTA(試料提供契約)を除く

●企業・経済団体・官公庁・公的機関訪問件数(年間)

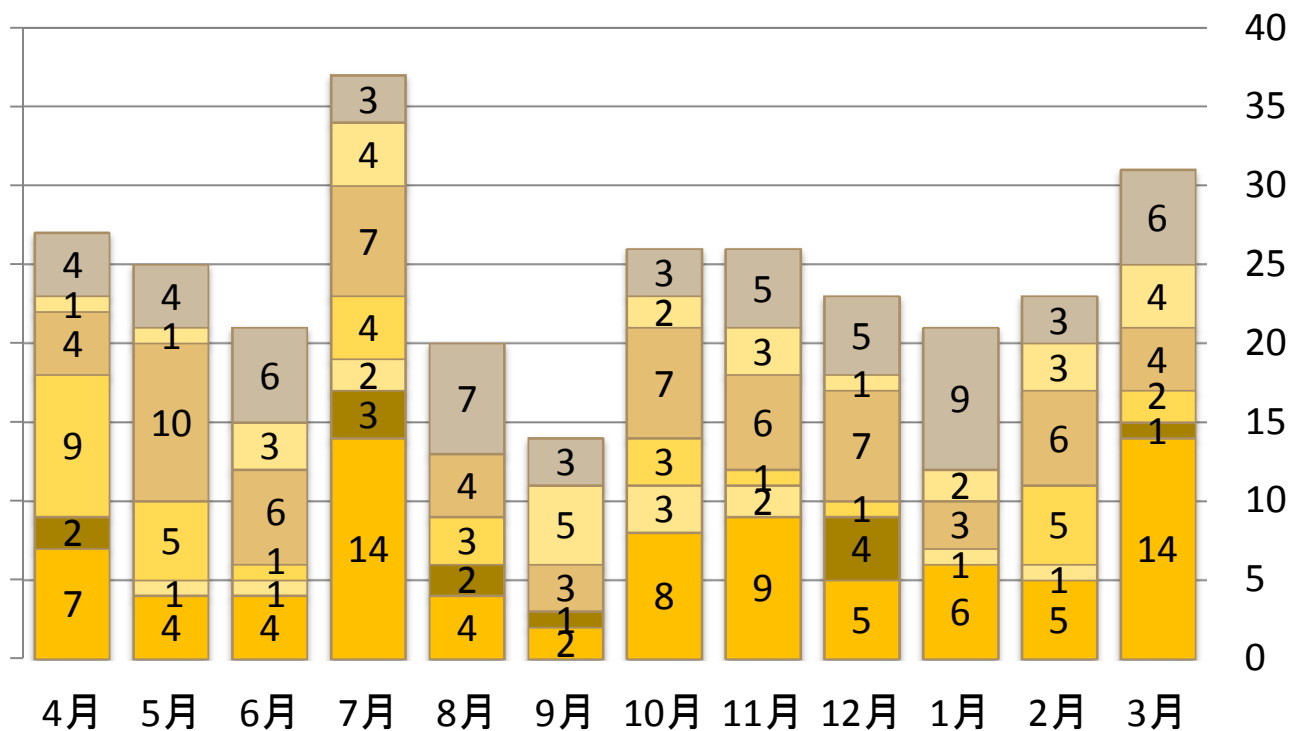
訪 問 先	件 数 ※
県 内 企 業	82
県 外 企 業	13
経 済 団 体	11
官 公 庁	34
公 的 機 関	67
他 大 学	29
そ の 他 ※	58

※ 件数は、訪問した延べ人数ではなく訪問件数でカウント。

※「その他」は各種イベント参加のための会場訪問が多く、主な訪問先は大宮ソニックシティ16件、東京ビッグサイト10件、さいたまスーパーアリーナ7件、新都心ビジネス交流プラザ3件、ホテルプリランテ武蔵野3件、以下省略。

●企業・経済団体・官公庁・公的機関訪問件数(月別)

■ 県内企業 ■ 県外企業 ■ 経済団体 ■ 官公庁 ■ 公的機関 ■ 他大学 ■ その他



●平成27年度 3Dプリンター基礎研修報告

高度ものづくり人材を育成することで、さいたま市内等企業の国際競争力を高度化するため、さいたま市及びさいたま市産業創造財団の協力により実施しました。

企業の製品開発では3D-CAD及び3Dプリンターの利用による、開発、試作及び設計時間の短縮、機能性能の確認、信頼性確認の高度化が期待されていることから、こうした技術を、さいたま市内等の企業の技術者が習得するために本研修を実施しました。

本業務では、フリーソフト3D-CAD (DesignSpark) 操作研修と3Dプリンターによる造形、3D-CAD (SolidWorks) 基礎研修と3Dプリンターによる3Dサンプルの造形及び3D-CADのシミュレーション機能の各2日間の研修を各3回、更に3Dプリンターメーカーでの装置見学会を以下の日程で行いました。各コースでは、受講者が講師の説明に従って、各自のPCを用いて各種3Dモデルの作成を行いました。

	第1回開催日 (平成27年)	第2回開催日 (平成27年)	第3回開催日 (平成28年)
コース1 フリー3D-CAD &3Dプリンター研修	8月20日(木) 8月21日(金) 13:00~17:00	11月18日(水) 11月19日(木) 13:00~17:00	1月14日(木) 1月15日(金) 13:00~17:00
コース2 ミッドレンジ3D-CAD &3Dプリンター研修	9月10日(木) 9月11日(金) 13:00~17:00	11月12日(木) 11月13日(金) 13:00~17:00	1月28日(木) 1月29日(金) 13:00~17:00
コース3 3D-CAD機能 シミュレーション研修	9月17日(木) 9月18日(金) 13:00~17:00	11月26日(木) 11月27日(金) 13:00~17:00	2月4日(木) 2月5日(金) 13:00~17:00
3Dプリンター 装置見学会	キヤノン装置見学会 : 平成27年12月8日(火) 10:00~12:00 キヤノンマーケティングジャパン株式会社 デモルーム		
	キーエンス装置見学会 : 平成27年12月14日(月) 13:30~15:30 株式会社キーエンス 東京営業所 デモルーム		

本研修には、18社から28名の企業関係者と本学内12名の計40名の参加があり、製造業だけでなく建築業、広告企画等の広い業種の方々の参加がありました。

本研修コース1からコース3の研修は、本学オープンイノベーションセンター108研修室で行い、各コースの受講修了者には修了証書を授与しました。



写真1 3D-CAD研修光景



写真2 3Dプリンター出力光景

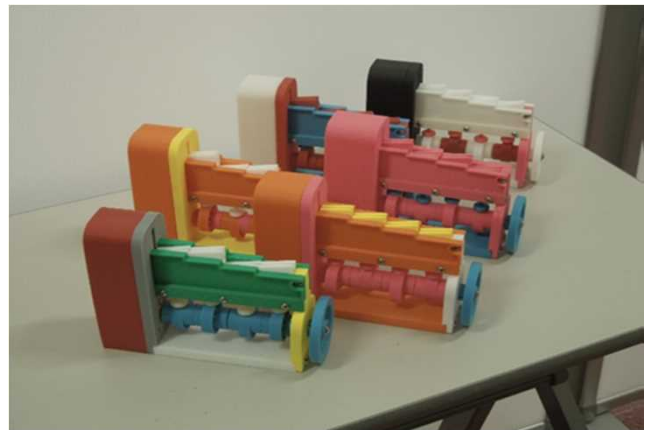


写真3 3Dプリンターによる3Dモデルの出力例

本研修では熱溶解積層法の3DプリンターUP Plus2とより大型且つ高精度のTITANを使用して、ABS樹脂で各サンプルを出力形成しました。写真3. は、3Dプリンターの出力例で、受講者が講師の指導のもと作成した3Dモデルとシミュレーション機能研修に使用した動作機能確認用のモデルです。

本研修のアンケートによれば、3D-CAD研修に関しては、3D-CAD未経験者でも理解しやすく、他のCAD研修よりも分かり易かったとの回答が多く得られました。更に3Dプリンター研修では、技術解説だけでなく、実際に受講者作成の3Dモデルを出力したことで、良い体験ができ実際に3Dプリンターの導入にまで進んだ企業もありました。平成28年度は、受講生の要望を反映したより高度な研修を計画しています。

平成27年度の「3Dプリンター基礎研修」を滞りなく完了できたことを、さいたま市及びさいたま市産業創造財団に感謝申し上げます。

以上

プロジェクト推進部門の活動報告

埼玉大学先端産業創造プロジェクト

●次世代有機太陽電池開発プロジェクト【新エネルギー分野】

本プロジェクトは平成26年度から開始された。本年度は実用化・事業化を更に加速させるためにテーマを二つに集約した。更に今までの研究成果を具現化すべく、具体的な試作を中心に取り組んだ。その結果、それぞれのテーマで実用化への可能性を示す成果を上げ、3年目の継続へと繋がった。

1. 塗布型有機薄膜太陽電池の開発

①研究開発内容

ウェットプロセスの特長を活かした静電塗布成膜技術を応用した薄膜シートを基板とした軽量・薄型・フレキシブルで応用性の高い新型有機薄膜太陽電池の開発

②平成27年度の成果

塗布条件の調整による成膜性向上によりフレキシブルなPEN基板を用い実験室レベルで変換効率8.58%の素子を開発した。また、3次元曲面塗布によりドーム型素子を開発し応用範囲を広げた。



フレキシブル太陽電池試作品



ドーム型曲面太陽電池試作品

2. ハイブリッド型有機太陽電池の開発

①研究開発内容

シリコン基板に均一に有機膜を塗布できる成膜技術を応用した簡素なプロセスによる高性能かつ低コストの新型太陽電池の開発

②平成27年度の成果

結晶Si/PEDOT:PSS接合型(ハイブリッド)太陽電池で変換効率15.9%の素子を開発した。また、実用化に向けてモジュール化に取り組みA4サイズのモジュールにて2.7Wの出力を実現した。



4インチ塗布型太陽電池試作品



A4サイズ太陽電池モジュール試作品

埼玉大学先端産業創造プロジェクト

●生活支援ロボットの研究開発【ロボット分野】

<研究開発内容(プロジェクト2年目として、開発の進展をまとめる。)>

1. コミュニケーション支援ロボットの開発

- ① 被介護者である高齢者が一人でいつでも使えるものを目指してボタン一つで操作可能なシステムを開発した。
- ② 画像通信についてはSkypeからWeb browser ベースのシステムを開発し、機器の制御やデータの蓄積を可能とした。
- ③ 画像等センサーを(ロボット等に)実装し見守りも可能とした。



2. ロボット車いすの開発

- ① 人追従場面では、死角のない追跡としてBLE (Bluetooth Low Energy)を実装し、この実現と共にコストミナムを実現した。
- ② 自律走行場面では自己位置同定の機能を開発し、障害物が出現しても自動的に回避、移動の継続を可能とした。
- ③ 段差を乗り越える車いす躯体の試作・改良を行った。



3. リハビリ支援ロボットの開発

- ① 足首筋カトレーニング装置では筋力を力覚センサーで計測し、その値の可視化を可能とし実証可能レベルに引き上げた。
- ② 歩行訓練として平行棒システムを開発し、手足の負荷の見える化を従来法に比し簡易な機構を開発した。



上記に関し、実用化に先駆けて、そしてシステムの改良を目的に、株式会社ウイズネット様等の協力を得て実証を進めた。足首筋カトレーニング装置ではTUGテスト(Time Up and Go test)にて20%を超える改善効果を得ている。

<波及効果>

販売先企業候補として、本開発品の商流を有し全国展開可能な企業とのコンタクトを深め、ロボット車いすでは 医療・福祉用器具製造販売会社と、コミュニケーション支援ロボットでは総合警備会社とNDAを締結し、早期の実用化を目指していく。

尚、セットアップメーカーは県内企業にて展開している。

埼玉大学先端産業創造プロジェクト

●感染症及びがんの早期検出薬・診断薬の研究開発【医療イノベーション分野】

<平成27年度の成果>

1. 感染症

- ① 開発した蛍光増感型シロール dendリマーにインフルエンザウイルス結合ペプチドアプタマーを固定化した試作品を作製し、ウイルス濃度と発光強度を確認。

2. がん

- ① あるがんマーカーに結合するVHH抗体ともう1種のがんマーカーに結合するペプチドアプタマーを取得。
- ② ELISA、イムノクロマトキットを試作し、評価開始。

<次年度の進め方>

試作品の性能upを図り、市販品との優位性検証を行う。

⇒ 高感度化等の優位性確立を目指す。



埼玉大学産学官連携協議会の各研究会の活動報告

●大麦食品普及研究会

代表：円谷陽一 大学院理工学研究科 教授

事務局：大久保俊彦 産学官連携シニアコーディネーター

「大麦食品普及研究会」は大麦の健康機能に注目し、産学官連携で美味しく健康の維持増進に役立つ大麦食品を研究開発し、地域産業の振興にも寄与していくことを目指しています。平成27年度は以下の活動に取り組みました。

- (1) 平成26年度に引き続き、農林水産省H27年度「食のモデル地域育成事業」に採択され、事業推進のため「埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会」(14機関参画)を結成し、大麦食品の試作・事業化・普及を推進しました。
- (2) 展示会活動等。「アグリビジネス創出フェア2015」(平成27年11月18～20日 東京ビックサイト)、「スーパーマーケット・トレードショー2016」(平成28年2月10-12日 東京ビックサイト)で大麦食品の展示、試食(大麦カパン)を実施しました。「市民大試食会」(平成28年1月18日 大宮ソニックシティ)を開催し、講演と大麦食品の試食を実施しました。
- (3) 情報発信。テレビ埼玉「ビジネスウォッチ」で協議会の活動が紹介されました。(平成27年10月3日)、食品専門雑誌「食品と開発」(UBMメディア(株)、平成27年7月号)に大麦食品の解説記事が掲載されました。



テレビ埼玉「ビジネスウォッチ」のインタビューに答える円谷代表

●アグリビジネス研究会

代表:高木優 大学院理工学研究科 教授

事務局:大久保俊彦 産学官連携シニアコーディネーター

アグリビジネス研究会は一昨年まで4年間実施した「植物工場研究会」を継承しつつ、平成27年度から新たに活動を開始した研究会です。本研究会は、都心と良好な位置関係にある埼玉県のメリットを活かしたアグリビジネスについて考察し、実践的なビジネス展開が出来るシステム構築についての開発研究や埼玉県が展開している多様なリサイクルシステムに関するノウハウを活用し、バイオマスの有効利用を検討するものです。

平成27年度は、本学の分子生物学、情報計測工学及び経営学の研究者4名と幅広い業種の企業会員の皆様とで、アグリビジネスに関する開発研究に以下のように取り組みました。

(1)研究会の開催

第1回研究会を7月27日開催し、本研究会のキックオフを兼ね、本研究会が狙うアグリビジネスの方向性を確認しました。第2回は12月17日開催し、高密度微生物培土の専門家の講演と具体的なアグリビジネス研究のケーススタディーとしてマレーシア等で栽培されるアブラヤシのパーム油搾りかす残渣バイオマスの肥料化やそれを活用した野菜栽培等の可能性を検討しました。第3回は3月30日開催し、今年度活動をまとめると共に、上述のアブラヤシ搾りかす残渣の肥料化をベースにアグリビジネスを具体化していくことを確認しました。

(2)アブラヤシ残渣バイオマスの肥料化可能性の検討

アブラヤシ残渣バイオマスの活用の起点となるそれらの残渣が肥料化できるのかを実証実験することにしました。そこで、会員企業から微生物を利用し有機性廃棄物から肥料を製造する技術をもつ「よりのコンポスト株式会社」を紹介いただき、実証実験計画の策定に取りかかりました。

アブラヤシ残渣は、ほぼ肥料化できそうで、次なる課題はその肥料の特性の把握やそれを活用したビジネス構築となりそうです。研究会メンバーの知恵を集めると共に幅広く情報を集め、有望なアグリビジネスを創出していきたいと考えております。本研究会に関心ある皆様のご加入も期待しております。



▲第1回研究会風景

●防災ビジネス研究会

代表：藤池一誠 株式会社デザイン 代表取締役社長

コーディネーター：笠谷昌史 産学官連携シニアコーディネーター

事務局：山田涼子 オープンイノベーションセンター事務補佐員

防災ビジネス研究会は、国土強靱化(ナショナル・レジリエンス)の推進が重要課題となる中、地域の防災に貢献する新たなアクティビティの研究、ビジネスとしての検証等を目的として設立されました。産学官の持ちうる防災・減災情報を、県内に広く周知していくためのビジネススキーム研究をはじめとした活動を予定しています。

平成27年度活動実績

キックオフミーティング 平成28年1月20日

- 研究テーマの選定について
- 活動計画協議
- 研究事例紹介「家屋立ち退き避難、家屋倒壊危険ゾーン表示に向けての課題」
埼玉大学大学院理工学研究科
田中 規夫教授
(レジリエント社会研究センター長)



埼玉県ヒアリング 平成28年2月16～18日

- 防災関連部署へヒアリングを実施(事務局対応)

危機管理防災部 危機管理課 震災予防・復興支援担当主幹	鶴見 恒 様
危機管理防災部 消防防災課 災害対策担当主幹	本橋 仁 様
県土整備部 道路環境課 道路環境、補修、防災担当主幹	辻 幸二 様
県土整備部 河川砂防課 防災、河川砂防情報システム・河川設備担当主幹	天野 圭太 様
都市整備部 都市計画課 総務・企画担当主査	下河原 優一 様

第2回研究会 平成28年3月31日

- 埼玉県防災関連部署ヒアリング報告
- 活動計画協議
- 研究事例紹介「AR技術について」
埼玉大学大学院理工学研究科
小室 孝准教授



COICの運営と組織

●運営と組織

[名称]

埼玉大学研究機構オープンイノベーションセンター
(Comprehensive Open Innovation Center)

[所在地]

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255
TEL:048-858-9354(直通) FAX:048-858-9419
E-mail:coic-jimu@ml.saitama-u.ac.jp
HP:http://www.saitama-u.ac.jp/coic/

[設立]

平成20年9月1日

[目的、業務]

埼玉大学研究機構オープンイノベーションセンターの規則抜粋
(目的)

第2条 センターは、企業等の法人、地方公共団体等公的機関、他大学など(以下外部機関等という。)との共同研究及び研究交流を推進するとともに、本学における知的財産の創出、取得及び管理並びに技術移転の促進を図り、地域の企業等における技術革新、生産革新、経営革新、事業革新、情報革新、組織改革等のオープンイノベーションに対して中核機関として貢献することにより、本学の教育研究の進展に寄与するとともに地域社会の産業、文化、福祉及び教育の向上に資することを目的とする。

(部門)

第3条 センターの業務を実施するために、次の部門を置く。

- (1) 連携推進・知的財産部門
- (2) プロジェクト推進部門

(業務)

第4条 センターにおいては、次に掲げる業務を行う。

- (1) 産学官連携戦略の企画及び推進
- (2) 外部機関等との連携の推進
- (3) 外部機関等との共同研究及びプロジェクトの推進
- (4) オープンイノベーションの醸成
- (5) 知的財産の管理及び創出・取得の推進
- (6) 技術移転の推進
- (7) ベンチャー起業に関する啓発・教育等による本学発ベンチャー企業への支援
- (8) その他センターの目的を達成するために必要な業務

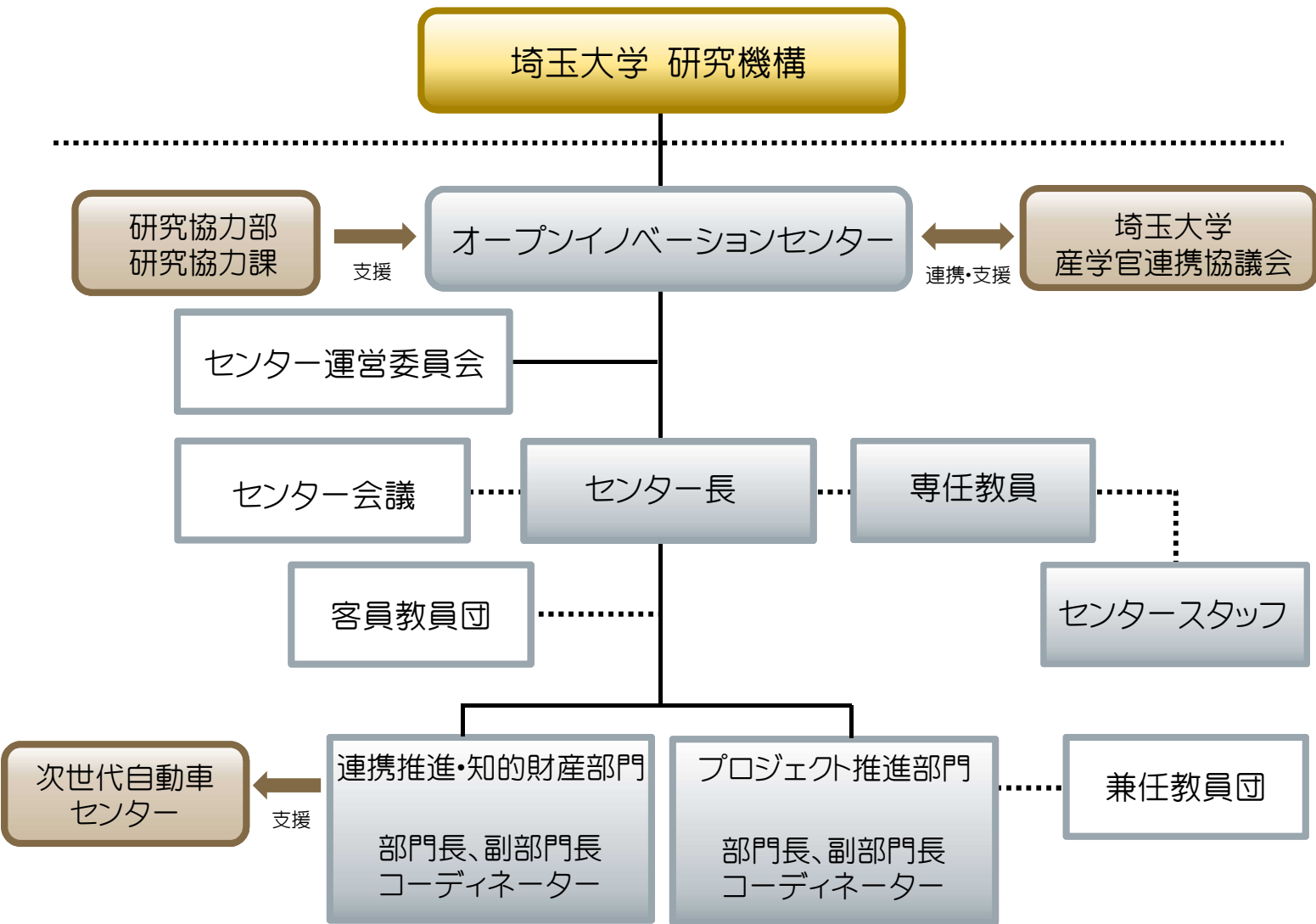
[埼玉大学の主たる研究分野等]

①企業内教育 ②経営 ③都市工学 ④環境 ⑤建設・土木 ⑥地震・地球科学 ⑦分析・評価・測定 ⑧生体・化学 ⑨脳 ⑩素材・機能デバイス ⑪加工・生産技術 ⑫熱・流体・振動 ⑬メカトロニクス・計測・制御・ロボット ⑭コンピュータ応用・知識情報 ⑮電気・電子・部品・装置 等

職名等	スタッフ氏名等	主な具体的業務等
センター長	綿貫 啓一(教授)	統括、管理、監督、企画
副センター長	小林 裕一(教授)	統括、管理、企画、運営、計画推進、実施、地域連携など
連携推進部門・知的財産部門長	松岡 浩司(教授)	統括、管理、企画、運営、計画推進、実施、知的財産管理運営など
プロジェクト推進部門長、専任教員	橋本 智(准教授)	統括、管理、企画、運営、計画推進、実施、地域連携、埼玉県先端産業創造プロジェクト管理運営など
客員教授	根岸 茂文(平成27年10月1日～)	技術相談、研究支援、知的財産支援、技術移転支援など
	室久保 貞一(平成27年10月1日～)	
	中村 雅範(平成27年10月1日～)	
兼任教員	鎌田 憲彦(教授)	埼玉県先端産業創造プロジェクト研究開発など
	白井 肇(教授)	
	久野 義徳(教授)	
	松岡 浩司(教授)	
	根本 直人(教授)	
	石丸 雄大(准教授)	
	辻 俊明(准教授)	
	幡野 健(准教授)	
小林 貴訓(准教授)		

職名等	スタッフ氏名等(敬称略)	主な具体的業務等
産学官連携シニアコーディネーター	大久保 俊彦(特命教授)	技術指導、技術相談、共同研究・受託研究のコーディネート業務、研修、イベント出展、地方自治体との連携、研究会支援、地域企業連携、広域企業連携産学連携イベントの企画・運営、イノベーション土壤の開拓、地域大学間連携、首都圏北部4大学連合、埼玉大学産学官連携協議会事業支援、オープンイノベーション醸成、埼玉次世代自動車環境関連技術イノベーション創出センター業務補佐、3D CAD～3Dプリンター基礎研修業務運営など
	笠谷 昌史	
	丹保 仁志	
	岩佐 徳昭	技術指導、技術相談、共同研究・受託研究のコーディネート業務、研修、イベント出展、地方自治体との連携、研究会支援、地域企業連携、広域企業連携地域大学間連携、埼玉大学産学官連携協議会事業支援、埼玉県先端産業創造プロジェクトの推進、など
	横田 一郎	
	牟田口 照恭	
知的財産シニアコーディネーター	北島 恒之(特命教授)	特許等知的財産創出、知的財産申請・出願、知的財産管理、特許紹介、技術移転、首都圏北部4大学連合、知的財産管理データベース管理など
事務補佐員	日下 明美	次世代自動車関連管理事務、3D CAD～3Dプリンター基礎研修関連管理事務、先端産業創造プロジェクト関連事務、出納業務、勤務管理、備品管理、イベント出展補助、刊行物作成業務、オープンイノベーションセンター研究棟施設の管理、特許管理事務、ホームページ管理、受付、郵便物管理、埼玉大学産学官連携協議会事業支援など
	今 真紀	
	藏田 礼絵	
	荒井 達男	
	山田 涼子	
	平本 三菜子	

●体制図



●歴代センター長一覧

	氏 名	期 間
初代	一國 雅巳 教授	平成6年6月24日～平成8年3月31日
2代	河西 敏雄 教授	平成8年4月1日～平成10年3月31日
3代	山田 興治 教授	平成10年4月1日～平成12年3月31日
4代	坂本 和彦 教授	平成12年4月1日～平成14年6月9日
5代	睦好 宏史 教授	平成14年6月10日～平成16年3月31日
6代	加藤 寛 教授	平成16年4月1日～平成18年3月31日
7代	高田 進 教授	平成18年4月1日～平成20年2月27日
8代	中山 重蔵 理事	平成20年2月28日～平成20年3月31日
9代	太田 公廣 教授	平成20年4月1日～平成22年3月31日
10代	川橋 正昭 理事・副学長	平成22年4月1日～平成24年3月31日
11代	大澤 清一 教授	平成24年4月1日～平成26年3月31日
12代	綿貫 啓一 教授	平成26年4月1日～平成28年3月31日

ご案内

●技術相談について

本学では、企業の抱える技術的課題に対するご相談(技術相談)を随時受け付けています。いつでもお気軽にオープンイノベーションセンターまでご連絡ください。

TEL : 048-858-3849

E-mail : sangaku@ml.saitama-u.ac.jp

<技術相談のメリット>

企業

- ・共同研究に比べ手軽に利用できる。
- ・短期移管に有益なアドバイスが得られる。

大学

- ・実用性のある研究ができる。
- ・自分の専門を生かせる。
- ・企業のニーズや最近の動向がわかる。

研究・技術相談申込書			
■申込者			年 月 日
会社名			
部署・役職名	ご担当者		
Email			
所在地			
電話	FAX		
従業員数	資本金		
URL			
■相談内容			
相談分野	<input type="checkbox"/> 生物 <input type="checkbox"/> 物理 <input type="checkbox"/> 化学 <input type="checkbox"/> 機能材料 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 電気電子 <input type="checkbox"/> 情報通信 <input type="checkbox"/> 機械 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 建設 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> その他 ()		
希望教員	(ご希望の教員がございましたらご記入ください)		
きっかけ	<input type="checkbox"/> ホームページ <input type="checkbox"/> シラズ集「埼玉大学の研究室2013-14」 <input type="checkbox"/> 他機関等からのご紹介 () <input type="checkbox"/> イベント () <input type="checkbox"/> その他 ()		
相談内容	(会社概要、相談に至る背景、問題点などについて具体的に記入ください)		
希望すること	(アドバイス希望が共同研究までを希望されるのかなどご記入ください)		

「埼玉大学研究室2013-14改訂版」等で研究内容をお調べいただくことも可能です。「埼玉大学研究室2013-14改訂版」をご希望の場合はお申しつけください。

測定・分析は、科学技術分析支援センターで有償で対応可能です。

学内で対応可能な教員が不在の場合には首都圏北部4大学連合(4u)等のネットワークを通じて他大学の教員を紹介することも可能です。

オープンイノベーションセンターでは、企業経験のあるコーディネーター等が対応しています。声をかけていただくことで、産学官連携のきっかけとなり地域社会の発展にお役に立てることを願っています。

●共同研究について

共同研究は、民間機関等の研究者と大学の教職員とが、契約に基づき、対等の立場で共通の課題について研究に取り組み、優れた研究成果が生まれることを促進する制度です。

研究形態

(1) 埼玉大学における共同研究

民間等から研究者及び研究経費等を受け入れ、本学の教職員と民間機関等の研究者が、共通の課題について、共同して行う研究です。

(2) 埼玉大学及び民間機関等における共同研究

民間等から研究者及び研究経費等、又は研究経費等を受け入れ、大学及び民間機関等が、共通の課題について分担して行う研究です。

(3) 民間等共同研究員

民間機関等において、現に研究業務に従事しており、共同研究のために在職のまま大学に派遣される方です。

研究経費

(1) 直接経費

共同研究遂行のために、特に必要となる謝金・旅費・研究支援者の人件費、消耗品費、光熱水量等の直接的な経費です。

(2) 民間等共同研究員の方の研究料

民間等共同研究員の方を大学に受け入れることにより必要となる経費です。
(1人あたり年額420,000円)。

(3) 間接経費

共同研究遂行のために必要となる直接経費以外の経費で、原則直接経費の10%を負担していただきます。

設備等

(1) 帰属

- ① 負担いただいた共同研究に要する経費等により、大学が新たに取得した設備等は、大学の所有に属します。
- ② 民間機関等における共同研究に要する経費により、民間機関等が新たに取得した設備等は、民間機関等の所有に属します。

(2) 設備等の利用

研究の遂行上必要な場合は、大学が民間機関等の所有する設備等を受け入れ、共同で使用することができます。なお、この場合の搬入搬出に係る経費は、原則として民間機関等のご負担となります。

研究期間

- (1) 研究期間は特に制限はなく、複数年締結することもできます。
- (2) 共同研究が複数年にまたがる場合は、具体的な年次計画を策定し、十分な打合せを行ってください。

手続

- (1) 申込
本学の研究代表者が所属する組織の長(学部長等)に「別紙様式:共同研究申込書」等を提出してください。
- (2) 受入の決定
申込を受けた組織(学部等)の審議機関において、共同研究の実施に関する必要な事項について審議を行い、受入を決定します。
- (3) 共同研究契約
共同研究契約は、組織(学部等)を統括する学長と民間機関等の代表者等との間で締結します。

公表と特許等

- (1) 公表
共同研究における研究成果は、原則公表としていますが、公表の時期・方法については、特許権等の取得の妨げにならない範囲において契約書で定めることとなります。
- (2) 知的財産権の取扱い
知的財産権については、原則共有とし、本学と共同出願することとなります。この場合、持分は本学と協議の上、決定することとなります。
また、その共有知的財産権は、企業等又は企業等の指定する者に限り、出願した時から一定期間(契約時に設定)を超えない範囲内において独占的に実施することができます。

●各種イベントでの当センターPR用ポスター

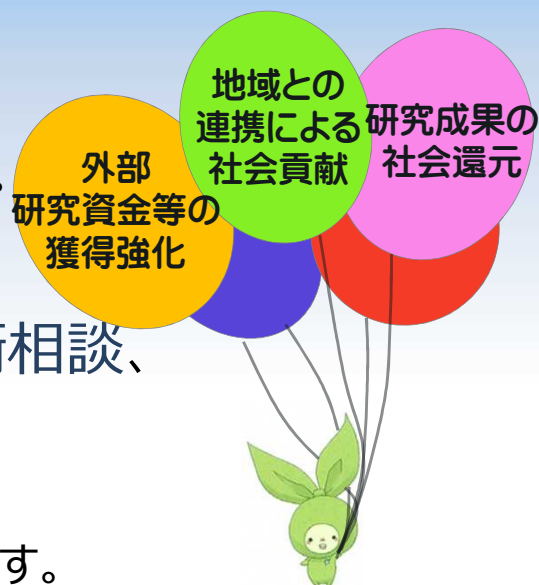
埼玉大学 オープンイノベーションセンター

オープンイノベーションセンターは産学官連携におけるリエゾンオフィスとしての機能を持ち、

- 連携推進・知的財産部門 及び
- プロジェクト推進部門 の2部門からなります。

センターの活動としては、

本学の研究シーズの紹介、技術相談、
共同研究の実施支援、
知的財産の紹介・活用、
外部機関との連携等を行っております。



技術相談から共同研究等への流れ

研究・技術相談申込



オープンイノベーションセンター
連携推進・知的財産部門

☎ 048-858-3849 📠 048-858-9419

✉ coic-sangaku@ml.saitama-u.ac.jp

教員との技術相談

共同研究

受託研究

奨学寄附金



●埼玉大学産学官連携協議会紹介パンフレット

埼玉大学産学官連携協議会

埼玉大学産学官連携協議会は、平成12年に埼玉県内の経済団体*と埼玉大学が設立発起人となり、協議会会員企業等と埼玉大学の研究とを有機的に結びつけ、地域産業の一層の発展を図ることを目的に設立された任意団体です。

本協議会では、協議会会員企業等の経営者および技術者と埼玉大学の研究者との交流の場を提供する産学交流事業、埼玉大学からの各種情報発信、また共同研究等への発展が期待される課題解決に向けた研究会活動などを行っています。

*埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会、埼玉県産業振興公社、埼玉県経営者協会、埼玉経済同友会（法人格名略）

会員のメリット

1

本協議会の研究会に参加できます！

活動中の各研究会が、ご参加をお待ちしています。新規の研究会テーマも募集中です。

① アグリビジネス研究会 ② 大麦食品普及研究会 ③ 防災ビジネス研究会（予定）



2

埼玉大学の学生採用のチャンスがあります！

会員企業が埼玉大学の学生・留学生に対して魅力発信する機会（企業説明会）に参加できます。＜年1回程度＞



3

シニア等による技術支援が受けられます！

多くの経験と高い知見をもつ埼玉大学元教員や現役教員等が、会員企業が抱える技術課題の解決に向け、現場で助言します。＜随時派遣＞



4

産学交流会（テクノカフェ等）に参加できます！

大学・企業等の最先端の研究成果や技術紹介と、大学と企業等のマッチング等をおこなうオープンイノベーションの場に参加できます。＜年1回＞



5

異業種交流（工場見学会等）に参加できます！

新しい価値の創造に向けた多種多様な異業種の企業と大学の連携を図ることを目的とする工場見学会に参加できます。＜年2回＞



6

埼玉大学科学分析支援センターが活用できます！

大型分析機器を多数保有する科学分析支援センターでの依頼分析を、協議会会員料金（規定の1/2）でご利用いただけます。＜随時＞



7

企業活動に役立つ最新情報をお届けします！

ニュースレター（年2回発行）とインフォメーションメール配信で、会員企業にとって有益な情報や研究シーズ紹介・会員企業紹介・最新のイベント情報などをお届けします。

入会のご案内

会員

1. 正会員は、本会の事業に賛同する団体または個人とします。（企業規模、業種にかかわらず入会することができます）
2. 公的な団体及び地方自治体等は、賛助会員として入会することができます。

年会費

1. 正会員：1口 3万円を1口以上 / 2. 賛助会員：無料

お申込み方法

埼玉大学産学官連携協議会の趣旨に賛同され、入会をご希望の方は、入会申込書に必要事項をご記入の上、事務局あてにFAXまたは郵送して下さい。担当よりあらためて連絡いたします。

☞ 申込書は裏面です。

■お問合せ 埼玉大学産学官連携協議会 事務局

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255（オープンイノベーションセンター内）

電話：048-714-2001 FAX：048-858-9419 Email：coic-jimu@ml.saitama-u.ac.jp

URL：http://www.saitama-u.ac.jp/coic/kyougi/